

**東京都駐車場の指定管理者の管理運営に関する二次評価
(令和7年度実施分)**

東京都八重洲駐車場

(公財)東京都道路整備保全公社

項目	評価内容
二次評価	S
管理状況	・ 設備保守や利用者サービスの向上など、選定要項等で定められている管理水準を確保するとともに、利用者の利便性の向上を図るなど、良好な管理運営を行った。 ・ 消防署と連携し自衛消防訓練、消火訓練等を実施した。 ・ 大型連休期間や年末年始、要人来日の際に警備員を増員し、巡回頻度の増加など警備を強化した。 ・ 警察署との合同による総合防犯訓練を行うなど場内の更なる安全性向上を図った。 ・ 警察署・消防署と実施した訓練等の成果を活かして、台風・豪雨や降雪、場内外の事故等に対し適切に安全措置を行った。 ・ 地域のまちづくりの動向や駐車需要を見据えた上で、周辺再開発や駐車場の改修予定を考慮して定期契約台数の調整を行うなど、八重洲等5場全体での効果的な運用を図っている。
事業効果	・ 駐車時間30分未満無料化と併せた荷さばき車両の受入れや、カーシェアリング事業者への定期貸付など、環境施策や地域の駐車対策に寄与した。 ・ 電気自動車の充電設備設置、低公害車の割引等、電気自動車や低公害車の普及促進に寄与した。 ・ 前年度と比較して、総利用台数が9,059台(+5.5%)、時間貸利用台数が10,465台(+6.7%)増加した。 ・ 地元の防犯パトロール等に参加し地域の安全確保、活性化に貢献した。 ・ 利用者アンケートによる利用者満足度は、全ての項目で評価が高かった。

東京都日本橋駐車場

(公財)東京都道路整備保全公社

項目	評価内容
二次評価	A
管理状況	・ 設備保守や利用者サービスの向上など、選定要項等で定められている管理水準を確保するとともに、利用者の利便性の向上を図るなど、良好な管理運営を行った。 ・ 消防署と連携し自衛消防訓練、消火訓練等を実施した。 ・ 大型連休期間や年末年始、要人来日の際に警備員を増員し、巡回頻度の増加など警備を強化した。 ・ 警察署との合同による総合防犯訓練を行うなど場内の更なる安全性向上を図った。 ・ 警察署・消防署と実施した訓練等の成果を活かして、台風・豪雨や降雪、場内外の事故等に対し適切に安全措置を行った。 ・ 地域のまちづくりの動向や駐車需要を見据えた上で、周辺再開発や駐車場の改修予定を考慮して定期契約台数の調整を行うなど、八重洲等5場全体での効果的な運用を図っている。
事業効果	・ 駐車時間30分未満無料化と併せた荷さばき車両の受入れや、カーシェアリング事業者への定期貸付など、環境施策や地域の駐車対策に寄与した。 ・ 電気自動車の充電設備設置、低公害車の割引等、電気自動車や低公害車の普及促進に寄与した。 ・ 令和6年6月まで大規模改修工事で閉鎖したため、改修前の令和3年度と比較して、総利用台数が309台(+0.2%)、時間貸利用台数が7,921台(+5.2%)増加した。 ・ 地元の防犯パトロール等に参加し地域の安全確保、活性化に貢献した。 ・ 利用者アンケートによる利用者満足度は、全ての項目で評価が高かった。

東京都宝町駐車場

(公財)東京都道路整備保全公社

項目	評価内容
二次評価	S
管理状況	・ 設備保守や利用者サービスの向上など、選定要項等で定められている管理水準を確保するとともに、利用者の利便性の向上を図るなど、良好な管理運営を行った。 ・ 消防署と連携し自衛消防訓練、消火訓練等を実施した。 ・ 大型連休期間や年末年始、要人來日の際に警備員を増員し、巡回頻度の増加など警備を強化した。 ・ 警察署・消防署と実施した訓練等の成果を活かして、台風・豪雨や降雪、場内外の事故等に対し適切に安全措置を行った。 ・ 地域のまちづくりの動向や駐車需要を見据えた上で、周辺再開発や駐車場の改修予定を考慮して定期契約台数の調整を行うなど、八重洲等5場全体での効果的な運用を図っている。
事業効果	・ 駐車時間30分未満無料化と併せた荷さばき車両の受入れや、カーシェアリング事業者への定期貸付など、環境施策や地域の駐車対策に寄与した。 ・ 電気自動車の充電設備設置、低公害車の割引等、電気自動車や低公害車の普及促進に寄与した。 ・ 前年度と比較して、総利用台数が7,438台(+5.6%)、時間貸利用台数が9,390台(+8.1%)増加した。 ・ 地元の防犯パトロール等に参加し地域の安全確保、活性化に貢献した。 ・ 利用者アンケートによる利用者満足度は、全ての項目で評価が高かった。

東京都新京橋駐車場

(公財)東京都道路整備保全公社

項目	評価内容
二次評価	S
管理状況	・ 設備保守や利用者サービスの向上など、選定要項等で定められている管理水準を確保するとともに、利用者の利便性の向上を図るなど、良好な管理運営を行った。 ・ 消防署と連携し自衛消防訓練、消火訓練等を実施した。 ・ 大型連休期間や年末年始、要人來日の際に警備員を増員し、巡回頻度の増加など警備を強化した。 ・ 警察署との合同による総合防犯訓練を行うなど場内の更なる安全性向上を図った。 ・ 改修中の東銀座駐車場から定期契約車両の多くを受け入れるとともに、時間貸の車室数が限定される中、混雑時には職員が場内誘導を行い、効率的な運用を図っている。 ・ 警察署・消防署と実施した訓練等の成果を活かして、台風・豪雨や降雪、場内外の事故等に対し適切に安全措置を行った。
事業効果	・ 駐車時間30分未満無料化と併せた荷さばき車両の受入れや、カーシェアリング事業者への定期貸付など、環境施策や地域の駐車対策に寄与した。 ・ 電気自動車の充電設備設置、低公害車の割引等、電気自動車や低公害車の普及促進に寄与した。 ・ 前年度と比較して、総利用台数が2,069台(-1.3%)減少し、時間貸利用台数が825台(-0.6%)減少したものの、概ね前年度実績を維持した。 ・ 地元の防犯パトロール等に参加し地域の安全確保、活性化に貢献した。 ・ 利用者アンケートによる利用者満足度は、全ての項目で評価が高かった。

東京都板橋四ツ又駐車場
(公財)東京都道路整備保全公社

項目	評価内容
二次評価	B
管理状況	・ 設備保守や利用者サービスの向上など、選定要項等で定められている管理水準を確保するとともに、利用者の利便性の向上を図るなど、良好な管理運営を行った。 ・ 消防署と連携し自衛消防訓練、消火訓練等を実施した。 ・ 大型連休期間や年末年始、要人来日の際に警備員を増員し、巡回頻度の増加など警備を強化した。 ・ 警察署との合同による総合防犯訓練を行うなど場内の更なる安全性向上を図った。 ・ 警察署・消防署と実施した訓練等の成果を活かして、台風・豪雨や降雪、場内外の事故等に対し適切に安全措置を行った。 ・ 天井からの漏水のため閉鎖中の車室がある中で、修繕により利用可能車室を確保するなど、継続的な工夫により効率的な運用を図っている。
事業効果	・ 近隣の工事現場、公共施設、周辺企業等に案内チラシを配布し、駐車場利用の向上を図った。 ・ 駐車時間30分未満無料化と併せた荷さばき車両やパーク＆ライドの受入れなど、環境施策や地域の駐車対策に寄与した。 ・ 電気自動車の充電設備設置、低公害車の割引等、電気自動車や低公害車の普及促進に寄与した。 ・ 大規模改修に伴う車室利用の制限がある中、前年度と比較して、その利用実績を維持した(総利用台数が485台(+0.9%)、時間貸利用台数が580台(+1.7%)増加)。 ・ 地元町内会や商店街等との更なる連携を進め、地域の安全確保、活性化に貢献することを期待する。 ・ 利用者アンケートによる利用者満足度は、全ての項目で評価が高かった。 ・ 都が行う大規模改修に際し、都との連絡調整、定期契約者への周知及び利用車室の調整等の折衝を計画的かつ丁寧に行い、改修の実施に大きく貢献した。

グループ名	都市部の公園・東部グループ
指定管理者名	アメニス東部地区グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
1	猿江恩賜公園	A	・グループ全体としては「TOKYO PARK Labo」をテーマに、利用者に寄り添う事業を展開し、尾久の原公園、宇喜田公園、猿江恩賜公園などで、市民が積極的に参加して活躍できるしくみができていることを評価する。今後は、培われた市民参加のノウハウをグループ内で共有するとともに、コミュニティコーディネーター的な役割を担う人材の横断的な活動により、市民参加の取組が各公園へさらに広がることを期待する。 ・猿江恩賜公園では防災イベントを再開し、消防署や自衛隊と連携した体験型の取組により参加者数を増加させるとともに、公園の防災機能の認知向上と新たな利用者層への周知につなげた。また近隣の専門学校からの依頼により、生態工学の講義を園内で初めて実施した。加えて、生物多様性フェア2025での展示や説明を通じて取組を発信した点等を評価。	A
2	亀戸中央公園	B	・亀戸中央公園では、Webアプリ「はなもく散歩」の活用や樹名板更新、告知強化により利用促進を図るとともに、「サザンカロード」の整備により公園の魅力・認知度向上に寄与した点を評価できる。また、年間を通じた季節イベントや大人向け企画を継続的に実施し、多くの参加者を集めるとともに高い満足度を得るなど、公園利用の促進につなげた。	B
3	尾久の原公園	A	・尾久の原公園では、「park:motto」を飲食中心の催しから多様な体験型イベントへ発展させ、参加団体が大幅に増加するなど、公園活用の基盤を形成した。また、自然観察会や講習、地域連携イベント等の継続実施により、多様な自主事業を展開した。さらに、講習会や利用者ニーズの把握・反映（剪定講習や犬のしつけ教室、時計設置等）を通じて、利用者サービスの向上と来園者の定着・満足度向上につなげた点等を評価する。	A
4	東綾瀬公園	A	・東綾瀬公園では、こいのぼりイベントや発生材を活用した各種体験プログラムの実施、キッチンカーの導入などにより、公園の魅力向上と来園者の満足度向上につなげた。また、防災フェスタを地域防災フェスタへと拡大し、自治体や警察、消防等と連携した取組を推進するとともに、防災施設の周知や体験機会の提供を通じて、地域の防災意識向上と連携強化につなげた点等を評価。 ・中川公園では季節ごとのこいのぼりや七夕、ハロウィン、クリスマス等のイベントにおいて、利用者参加型の装飾や企画を実施し、新規企画の導入や既存イベントの発展を図ることで、公園の魅力向上と利用促進につなげた。近隣小学校の学校農園などの体験受入れやボランティア活動、近隣の団地および自治体・地域団体との協働による取組を通じて、都民参加の拡大と地域との連携強化につなげた。	A
5	中川公園	B	・大島小松川公園では、自然観察や工作体験に加え、キッチンカーの導入やオンラインプログラムの展開など、多様な手法により来園者の満足度向上と利用促進につなげた。また、アウトドアフィットネスプログラムを気軽に参加できるイベントとしてスポーツフェスを実施し、通常プログラムへの新規参加者の取り込みと継続利用の促進を図り、利用者の健康意識の向上と日常的な公園利用の拡大につなげた。加えてパークミーティングにおける意見交換を通じて、様々な課題の解決に向けた取組を実施した点等を評価。	B
6	大島小松川公園	A	・宇喜田公園では、ハーブボランティアによる継続的な花壇管理やラベンダーの配布活動を通じて、保育園や高齢者施設、一般利用者との交流を広げるとともに、公園の魅力向上と周知につなげた。国の表彰を受けるなど活動の質・成果の高さが認められ、都民協働による「地域力」のさらなる醸成に寄与した。また、ホームページのフォトギャラリーの充実により利用者の発信・参加機会を拡大するとともに、季節イベントやキッチンカーによる賑わい創出に取り組み、来園動機向上と利用促進につなげた点等を評価。	A
7	宇喜田公園	A		A

グループ名	都市部の公園・南部グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
8	日比谷公園	S	・グループ全体として、ロケーションを活かしたイベントや公園の特性に応じた多彩なプログラムを展開し、各公園及び周辺地域の魅力向上に貢献した点は評価できる。 ・日比谷公園では、芝庭広場の供用開始後初となる「HIBIYA PARK TERRACE」において、日比谷エリアマネジメントや東京ミッドタウン日比谷等と連携した映画上映会を実施し、1万人を超える来場者を集めるなど、新たな事業展開による施設の魅力向上を図った。また、デフリンピックの日比谷公園開催に伴い、オリエンテーリング競技の事前調整や当日の来園者管理を行うとともに、手話付きガイドツアーの実施や手話付き動画公開を都のスポーツ推進本部と連携して行うなど、機運醸成に貢献した。さらに、千代田区と共催による「千代田区防災フェスタ」を開催し、約6,000人が来場するなど、警察・消防・行政等と連携した体験・訓練型コンテンツの提供により、防災意識の向上と若年層への啓発を図った点等を高く評価。	S
9	芝公園	A	・芝公園では、1年を通じて「芝公園まるごとカレッジ」を展開し、企業・地域団体・文化財関係者等と連携した多様なガイドツアーや講演会を実施することで、公園と周辺地域の自然・歴史・文化の魅力を一体的に発信し、施設の魅力向上と来園意欲の喚起につなげた。また、都教育委員会主催の文化財ウィークに合わせ、正式な認定を受けたガイドツアー「文化財ウォーク」を実施し、文化財への理解促進を図るとともに、地域の魅力発信を通じた来園促進に寄与した。さらに、企業CSR活動において、従来の清掃活動に加え、ベンチの再塗装や花壇プランターの設置など施設環境の向上に資する活動を実現し、継続的な公園運営の充実と都民サービスの向上に寄与した点等を評価。	A
10	青山公園	B	・青山公園では、近隣美術館と連携した「アートin青山パーク」第2弾をわくわくスクエアで開催し、昨年度の2倍超となる64組160人の親子が参加するなど、子供たちが安全な区域で楽しめる催しを提供した。また、『ナチュラルガーデニング講座』受講生が公園サービスセンターのサポートのもとボランティア団体を立ち上げ、ナチュラルガーデンの継続的管理体制の整備と後継ボランティア育成を実現するなど、持続可能性に配慮した事業展開を図った。	B
11	林試の森公園	A	・林試の森公園では、「生物多様性企画展」において初めて「林試の森 学生シンポジウム」を開催し、3校の学生による研究成果発表の場を提供するなど、研究成果を地域へ還元し、公園の価値を再認識する機会を創出した。また、大学と協力して子ども向けの樹木マップを作成し、掲載樹木42種に樹名板を設置するとともに、RPG形式の樹木ガイド「MORIMORIクエスト」で子ども達が樹木について楽しみながら学ぶ機会を創出し、樹木への関心を醸成した点等を評価。	A
12	蘆花恒春園	A	・蘆花恒春園では、ボランティアとともに中期計画に基づく雑木林保全活動を実施したほか、新たに連携した企業と、コーヒーかすを活用した腐葉土作りと実生木育成に挑戦するなど、都民参加の促進による施設の活性化を図った。また、毎年大量に発生する竹林で伐採した竹を活用した「竹ランタン」工作教室を実施し100組200人の親子が参加、「竹あかりのタペ」で活用することにより発生材の有効活用を訴求するなど、公園を起点とした資源活用の取組等を評価。	A
13	祖師谷公園	A	・祖師谷公園では、開園50周年を記念し、「写真展」を発展させた直木賞作家によるトークショーや野外シネマの初開催、サーカス等の企画展開により約4,500人が来場する周年記念事業を実施し、利用者サービスの充実と施設の魅力向上につなげた。また、初開催の「スポーツフェスタ」では、パラリンピック銅メダリストを招いた車いすテニス体験会をはじめユニバーサルスポーツを含む12種目を延べ5,000人が体験し、公園の多様なスポーツ利用を提案する機会を創出した。さらに、「みんなのホームパークづくり」では、地域の園児と協働したトイレのリニューアルを実施するなど、子供や地域が参画する参加型の公園づくりを推進し、公園への愛着醸成につなげた点等を評価。	A

グループ名	都市部の公園・北部グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
14	戸山公園	A	・グループ全体の取組として、地域的なテーマやニーズに応える企画を行うことで、多様な都民の参加を促進し、公園施設の魅力づくりにつなげた点は評価できる。また、浮間公園、石神井公園、大泉中央公園などにおいて、「公園マイプラン」として公募した企画を提案者と協働で実現し、成果を挙げたことは高く評価できる。地域密着型の地道な企画を市民参加により育てていく取組は、地域特性にもマッチしたものであり、今後のさらなる展開を期待する。 ・戸山公園では、視覚障害者にも公園の歴史的魅力を体験してもらうことを目的に、大学や図書館と連携し、3D地図を活用した歴史散歩を実施し、触覚と音声による解説や園内の香りなどの要素を組み合わせることで、多様な感覚で楽しめるプログラムを提供したほか、野外演劇イベント「箱根山演劇祭」では、高校生のパフォーマンスや観客参加型芝居など多彩な公演内容を充実させ、車椅子利用者の観覧に備えた動線調整を行うなど、インクルーシブな魅力発信にもつなげた点等を評価。	A
15	善福寺公園	A	・善福寺公園では、夏季における子どもの安全な遊び環境の確保を目的に、近隣ボランティア団体と連携して複合遊具にタープテントを設置する暑熱対策の検証を実施し、暑さ指数（WBGT）の測定により一定の効果を確認するなど、公園利用の快適性向上につなげたほか、生物多様性サービスセンター前に「生態info」コーナーを新設し、季節の野鳥や樹木情報に加え、樹木の新芽やカマキリの卵など実物展示を行うことで来園者が自然に触れられる学びの場を提供した点等を評価。	A
16	高井戸公園	A	・高井戸公園では、園内で刈り取った雑草を再利用し、隣接する小学校と協働して「ヤゴのすみかづくり」を実施することで、園内資源の循環利用と学校との連携による地域教育の推進に寄与したほか、近隣図書館との初の連携事業として子どもたちの声を実現した「公園de映画上映会」を開催するとともに、図書館・児童館で活動する「絵本の会」と協働した「あおぞらおはなし会」を杉並区の出張プレーパークと同日開催とすることで親子連れの参加を促進するなど、地域団体との連携強化や公園の文化・交流拠点としての機能向上に寄与した点等を評価。	A
17	浮間公園	A	・浮間公園では、公園マイプランにより募集した利用者の企画を実現する形で風車広場で初の野外映画上映会を開催し、告知後2日で定員に達するなど高い関心を集め、利用者の主体的な公園活用と参画意識の醸成につなげたほか、北区聴覚障害者協会や大学手話サークルと連携した手話通訳を導入したパークヨガ・パークツアーを通じて、聴覚障害者が安心して健康増進や防災学習に取り組める環境を創出し、多様な利用者の社会参加促進とダイバーシティを意識した公園運営の推進に寄与した点等を評価。	A
18	赤塚公園	B	・赤塚公園では、園内で発生した落枝を活用したバイオネストづくりを通じて、落葉や剪定枝の堆肥化と花壇肥料・植栽基盤土壌への再利用体制を構築し、廃棄物削減と環境負荷の低減による持続可能な園内管理を推進するとともに、高校生ボランティアとの協働により資源循環の取組に対する普及啓発につなげたほか、公園ボランティアと連携した崖線地区探訪の初の有料ガイドツアーを通じて、ニリンソウ以外の多様な自然の魅力発信と崖線地区の植生への理解促進に寄与した。	B
19	石神井公園	A	・石神井公園では、パークミーティングでの提案を受け、ふるさと文化館職員と地域サポーターを対象とした防災設備勉強会を初開催し、地域の防災対応力向上を図るとともに、地元の子ども食堂運営者と連携した防災かまど体験やクラフト教室を通じて、家庭の事情で遊ぶ機会に限られる児童の学びや居場所づくりに寄与したほか、地域住民からの提案を基に昭和100年の節目と連動させた「昭和」をテーマとするイベントを開催し、住民の声を反映した企画による多世代交流の場の創出と地域との一体感の醸成につなげるなど、公園を核とした地域コミュニティの関係強化と地域価値の向上に寄与した点等を評価。	A
20	大泉中央公園	A	・大泉中央公園では、パークミーティングで収集した地域ニーズを踏まえ、「3公園周辺防災あれこれマップ」を公園主導で作成し、複数主体との連携のもと防災関連情報を一元的に整理・共有する仕組みを構築することで、地域における連携強化と安全確保に寄与した。また、公園オリジナルの「いきものずかんカード」を導入し、生物への関心や理解の促進を図るとともに、継続的な来園や参加を促す仕組みを構築するなど、生物多様性の普及啓発に効果的に取り組んだほか、職員とのコミュニケーションを通じた利用マナーの向上にも寄与した点等を評価。	A
21	練馬城址公園	A	・練馬城址公園では、地元の就労支援センターと連携したアート木柵の制作・設置により、ゴミの投げ込みや植栽地への立ち入り防止を図るなど、公園管理上の課題解決に取り組むとともに、地域との協働による利用環境の向上につなげたほか、公園ボランティア「いきものクラブ」との協働によるバイオネストのモニタリングや子ども向け自然観察会を通じて、地域住民の生物多様性への理解促進と自然環境保全への参画意識の醸成に寄与した点等を評価。	A

グループ名	武蔵野の公園グループ
指定管理者名	武蔵野の公園パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
22	武蔵野公園	A	・グループ全体としては、自然環境の保全についてしっかりと目標を立て、それに関わる特に若い世代のボランティア参加の体制を確立していることは、地域の環境保全に関わる人材育成の視点からも高く評価できる。また、市民の意見を集めて各公園のニーズや課題、人材を把握し、その公園ごとに参加型で地域が必要とする場づくりを進めていく手法、そこから生まれた場が定着してきていることは高く評価できる。加えて多摩地域の24企業とワークショップや交流会を行う「Park Innovation Labo OPEN DAY」を実施し、官民連携による公園づくりを進める基盤を整えた点も評価できる。	A
23	浅間山公園	B	・武蔵野公園では、スケートボード広場において運営開始前から管理手法の検討やマニュアル整備を行うとともに、専門業者による講習を通じた点検体制の高度化や初心者向け講習会の実施により、安全で適正な利用環境の確保と利用者マナーの向上を図った。また、コナラ苗木の育成を継続的に行うとともに、大学との連携による地域性種苗の育成や知見の共有を進めるなど、生物多様性の保全に資する取組を着実に推進し、公園の環境機能の向上および持続的な自然環境の形成に寄与した点等を評価。 ・浅間山公園では、大学や地元市民団体と連携した植生調査および計画的な樹木管理により、林床環境の改善と希少植物の生育環境の向上に取り組んだ。また、市民参加による森づくり事業を通じて苗木の育成や植栽を進めることで、テーマとして掲げている「武蔵野の生物多様性の保全モデル」の実現に近づけるとともに都民参加の推進につなげた。	B
24	野川公園	A	・野川公園では、絶滅危惧種であるニホンアカガエルの産卵水域確保に向けた池の掘削作業を実施し、過去最高の産卵が確認されるなど、専門的知見を活かした保安全管理により、生物多様性の保全と希少種の生育環境の改善に成果を上げた。また、「野川公園緑の愛護ボランティアの会」の活動の場を広げるとともに、アメリカンスクールインジャパンとの地域性種苗育成プロジェクトを実現するなど、自然環境保全の担い手育成と都民協働の推進につなげた点等を評価。	A
25	玉川上水緑道	A	・玉川上水緑道では、「玉川上水緑道保全活用ガイドライン」に基づき、関係団体と連携しながら、杉並区エリアでの水辺再生プロジェクトの始動や武蔵野市エリアでの生物多様性スポットの創出を進めるなど、都市に潤いをもたらす水と緑のグリーンラインの構築を着実に推進した。また、都・区市連絡協議会等を通じて関係区市や水道局との情報共有・協議を密に行い、樹木伐採時の周知や近隣住民からの要望、施設支障への対応を連携して迅速に進めることで、広域にわたる緑道の適切な管理運営につなげた点等を評価。	A
26	武蔵国分寺公園	S	・武蔵国分寺公園では、「野鳥の森」におけるドローン調査結果に基づき、光環境の良好な箇所へ野鳥の好む低木を移植するなどナラ枯れ後の森林再生と一体的に環境改善を進めるとともに、「武蔵の池再生プロジェクト」による継続的な水質改善によりカイツブリの4年連続繁殖を実現するなど、生物多様性の保全と水辺環境の質的向上に具体的な成果を上げた。また、国分寺市社会福祉協議会との連携によるボランティア受入れや「公園×医療・福祉パークミーティング」の開催を通じ、就労準備支援やシニア向け健康イベントへと展開するなど、多様な主体の参画による新たな公園活用の創出と福祉分野との連携強化を図った。加えて花火利用やゆずりあった利用等の公園の利用ルールの見直し等を通じて利用の適正化を推進した。さらに、「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」による各種イベント（Sunday Park Cafe、てのわ市、うくフェス等）の実施や地域イベントとの連携により、公園空間の魅力を活かした賑わいを創出するとともに、地域コミュニティとの連携を深め、公園の利用促進及び地域価値の向上に寄与した点等を高く評価。	S
27	東伏見公園	B	・東伏見公園では、親子利用の特性を踏まえ、自然素材を活用した体験型イベントを実施し、公園で身近な自然を楽しむ環境教育の一步につなげた。 ・六仙公園では、「麦の収穫祭～東久留米麦まつり～」を開催し、小麦製品や地域文化を発信する多様なブース展開により過去最高となる来園者を集めるなど、地域団体と連携した賑わい創出と公園の魅力向上につなげた。また、「六仙公園ボランティア」の立ち上げや「ふらっとボランティア」「ちよいボラDAY」の導入により、参加しやすい仕組みを整備し、継続的な都民参加とボランティア活動の活性化を推進した。	B
28	六仙公園	B		B

グループ名	多摩部の公園グループ
指定管理者名	多摩部の公園パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
29	陵南公園	A	・グループ全体としては、グループを横断するパークコーディネーター、パークレンジャーなどの専門性のノウハウを年々進化させ、どの公園でも高いレベルの参加型のパークマネジメントが実現している。また、各公園のミッションを明確にして、企画が立てられている点も評価できる。加えて、地域と共に成長する公園づくり『Growing Parks』の取組と公園が地域の「成長と成熟」を牽引するような施設（組織）になった点を評価する。 ・陵南公園では、ユニバーサルデザイン遊具の活用にあたり、特別支援学校とのパークミーティングや体験機会の実施を通じて、多様な利用者同士の自然な交流を促進し、障害の有無に関わらず誰もが安心して利用できる環境づくりと公園の利用価値向上につなげた。親子向け野外映画イベント「ピクニックシネマ」を地域企業等と連携して実施し、装飾や演出による魅力的な空間創出に加え、初来園者の来訪やSNS活用・アンケートDX化による広報促進にもつなげ、公園の魅力発信と利用促進を図った点等を評価。	A
30	小宮公園	B	・小宮公園では、専門技術を用いた雑木林管理手法の導入により、効率的かつ安全性の高い維持管理を実施し、公園管理の質の向上につなげた。また、「初夏＊カフェDay」や「冬＊カフェ」など季節に応じたイベントの実施に加え、公園発生材を活用した体験事業等により、自然資源を活かした魅力発信と来園者サービスの向上を図り、公園利用の促進につなげた。	B
31	滝山公園	B	・滝山公園では、地域団体と連携したイベント「滝山城CAFE2025」やガイドツアー、自然・歴史を活かした周遊型企画の実施により、公園の魅力発信と利用促進を図るとともに、秋の主要イベントとしての認知向上と地域活性化につなげるなど、観光拠点としての取組が着実に定着しつつある。また、ノルディックウォーキング教室や親子向けプログラムの開催を通じて、多世代が楽しめる運動・交流の機会を創出し、健康増進につなげた。今後は、公園が有する歴史的資源等の高いポテンシャルを活かし、より一層の地域との連携を深めながら、更なる魅力向上と活性化に繋がる取組の展開を期待する。	B
32	大戸緑地	B	・大戸緑地では、自然体験イベントやツリーイング、クラフト体験等の実施により、公園の自然資源を活かした魅力発信と利用促進につなげた。ウォーキング教室やトレイルランニング教室の実施により、自然と健康づくりを両立した利用機会を提供し、公園の利用価値向上につなげた。	B

グループ名	狭山丘陵グループ
指定管理者名	狭山丘陵パートナーズ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
33	狭山・境緑道	B	・グループ全体としては、丘陵地という立地環境を活かしたイベントの実施や体験等の取組を行い、来園者が自然に触れ合う機会の創出、施設の魅力向上につなげた。またボランティア活動を充実させ、地域の方と協力して公園づくりを進め公園の価値向上につなげた。 ・狭山・境緑道では、沿道住民と連携した「ガーデンパートナー制度」による花壇活動を継続的に実施し、適正な利用の推進につなげた。また、自治会との協働による清掃活動イベントを実施し、多数の参加者を得ながら作業を通じた関係構築と意見交換の機会を創出することで、地域との連携強化と今後の管理運営に向けた基盤づくりに寄与した。	B
34	狭山公園	A	・狭山公園では、狭山丘陵6自治体や施設と連携した「さやまKIDS DAY」の開催により、自治体や関係団体と連携した多様な体験型プログラムを展開し、多くの来園者を集めるとともに、狭山丘陵の自然や地域資源の魅力を広く発信し、公園の認知度向上と利用促進につなげた。また、パークミーティングによる意見交換を通じて担い手の育成や連携基盤の強化を図り、持続的な管理運営の推進に寄与した点等を評価。 ・八国山緑地では、湿地環境の創出や保全活動により、希少な湿生植物の発芽を確認するなど、生物多様性の推進に資する取組を推進した。また小学校との連携による自然・歴史学習や実験の実施を通じて、自然保全への理解促進と環境学習の充実につなげた。	A
35	八国山緑地	B	・東大和公園では、希少植物の保護やアカマツの更新に向けた管理を行い、生物多様性の保全に取り組んだ。また、遊びの場づくりの試みとして「雑木林キッズデー」を実施したことは、地域の課題解決の試みとして評価できる。今後は、親も関わり、できるだけ地域の中で運営主体が形成され、開催頻度が増えることを期待する。加えて、「ボランティア活動による雑木林の整備」についても継続的な活動の展開を期待する。	B
36	東大和公園	B	・野山北六道山公園では、企業と連携した湿地再生によりニホンアカガエルやハラビロトンボなどの絶滅危惧種を確認したことに加え、ヤナギスズタの神代植物公園植物多様性センターへの譲渡による域外保全を進めるなど、生物多様性の保全と希少種保護に着実に取り組んだ。また、「じっくり田んぼコース」や「さとやまナイトピクニック」など、里山の自然や暮らしを体感できるプログラムを年間を通じて実施し、公園資源を活かした新たな魅力発信と利用促進につなげた。さらに、公園ボランティアと協働した「里山春祭り」、東京農工大学との実習受入れなどを通じて、里山における森林利用と多様な主体との協働を推進し、継続的な管理運営の基盤強化に寄与した。多くの取組を通じて多様な主体の参画の受入、協働の仕組みが確立されている点等を高く評価。 ・中籐公園では、ナラ枯れ対策として伐採後の樹林地にコナラを植樹し、地域住民や団体と協働して雑木林の再生と普及啓発を進めた。今後も「近隣住民や市民団体等、協働による雑木林環境の再生」について、活動の継続を期待する。	B
37	野山北・六道山公園	S		S
38	中籐公園	B		B

グループ名	多摩丘陵グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
39	長沼公園	B	・グループ全体の取組として、里山サミット関連イベントや体験型プログラムの充実により、自然環境への理解促進と来園者の利用機会拡充を図った。また、各公園が抱える課題や取組について地域関係者との共有を進め、連携強化を図るとともに、公園と周辺地域を横断的に楽しめる仕組みづくりにより、地域全体の周遊促進に取り組んだ。さらに、ボランティアの担い手確保や地域防災訓練等を通じて地域連携を強化し、都民参加による持続的な公園運営と生物多様性保全の推進に貢献したことは評価できる。一方で、市民参加については、イベントや講座を運営者が企画・運営し、市民がそれに参加する形にとどまっていることから、目指す里山の姿を明確にし、主体的に行動できるグループや個人が関わる体制づくりが望まれる。	B
40	平山城址公園	B	・長沼公園では、「里山サミットWEEK」に合わせ隣接する美術館と連携したパネル展を実施するとともに、日没後の安全・利便性向上を目的とした「お帰りルートマップ」を作成・常設化し、利用環境の改善を通じて施設の魅力向上につなげた。また、近隣自治会と初の合同地域連携防災訓練を実施し、公園管理者・消防関係者・住民の役割を明確化することで、地域防災力の向上に寄与した。 ・平山城址公園では、丘陵地レンジャーの指導による「丘陵地レンジャーお助け隊」を実施し、参加者が前年比2.5倍に拡大した。ボランティアとの協働による水環境整備を通じ、トウキョウサンショウウオ等の生息状況や生物多様性保全への理解促進を図るとともに、新たな参加者の掘り起こしと継続的な関与を促進し、都民参加による施設活性化につなげた。	B
41	小山田緑地	B	・小山田緑地では、「里山SDGs教室」について、従来の単日開催から夏休み期間中等に常時体験型へ見直したことで、参加者数が前年比2倍と大幅に増加し、来園者の利用機会を拡充した。また、「TOKYOつながる里山サミット2025」の関連企画としてデジタル版スタンプラリーを開催し、多摩丘陵の里山・公園の魅力を対外的に発信した。 ・小山内裏公園では、公園ボランティアの担い手確保に向け、1日体験ボランティア等を実施し新規会員の加入を促進するとともに、サンクチュアリツアーにおいて希少種の保全作業や生息環境整備を体験する機会を提供することで、地域の貴重な自然資源を介した人と自然とのつながりを育み、希少種保全への理解向上を図った。また、防災イベントにおいて車いす介助体験を取り入れ、要配慮者への対応に関する理解と意識の向上につなげた。	B
42	小山内裏公園	B	・桜ヶ丘公園では、「TOKYOつながる里山サミット2025」及び関連イベント「里山サミットWEEK」を開催し、延べ約3,000人の参加を得た。パネルディスカッションやワークショップ、デジタル版スタンプラリー等の多様なプログラムを通じて、里山の自然・文化の継承に向けた連携基盤の構築と魅力発信につなげたほか、「多摩桜プロジェクト」を活用した小中学生向け体験型学習を推進し、地域の教育機関との連携による課題解決に貢献した。また、ホタルの生息環境の保全に向けて導水路整備や生育環境の改善を計画的に進め、最大発光時期に合わせた観察会の実施やレンジャーによる解説を通じて、生物多様性に関する普及啓発につなげた点等を評価。	B
43	桜ヶ丘公園	A		A

グループ名	大神山公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
44	大神山公園	A	・大神山公園では、漂着したクジラの骨を活用した発掘イベントや、小笠原の夜空を活かしたお月見イベントにおける夜間JAZZコンサートなど、離島ならではの独自性の高いプログラムを展開し、施設の魅力向上と来園動機の創出につなげた。また、自然と娯楽を融合したバイオアース映画祭の開催や、海ごみアート作品の都内公園への展示を通じ、環境啓発に寄与した点等を評価。	A

グループ名	防災公園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
45	東白鬚公園	A	・グループ全体の取組として、関係団体等と連携して実施した防災事業において、被害を想定した実践的な訓練やインクルーシブな視点を取り入れた多様なプログラムを展開するなど、防災意識を高める取組を多数展開し、地域の防災力向上に貢献した。また、複数の公園においてパークミーティングを起点に地域ニーズを踏まえた企画を展開し、多様な主体との協働体制の構築・拡充を進めたことは評価できる。	A
46	木場公園	B	・東白鬚公園では、「カプトムシプロジェクト」を進展させ、園児・ボランティアとの協働による腐葉土づくりやバイオネスト制作等を通じて、子供たちが生きもののつながりを体験的に学ぶ環境学習の場を創出し、生物多様性の理解促進に寄与したほか、新規事業「あそ防災」の開催や多様な主体との連携による地区防災の取組紹介など、地域に根ざした防災普及啓発を効果的に推進した点等を評価。	B
47	砧公園	B	・木場公園では、「KIBAFESTA2025」において地域団体・企業との連携を拡大し、デジタル版スタンブラリーや来場者参加型企画等により延べ8,900人の来園につなげ、公園を核とした地域の魅力発信に寄与したほか、「防災フェスタ」では児童館と連携した出張防災講座を新たに実施するなど、多様な主体を対象とした防災普及啓発の拡充を図った。	B
48	駒沢オリンピック公園	B	・砧公園では、世田谷区や民間団体等と連携したインクルーシブイベントとして、誰もが一緒にお絵描きできるアートイベントを開催し、多様な主体による交流促進につなげたほか、地域11団体と連携した「防災フェスタ」では子ども防災ワークショップ等の工夫により約2,500人が来場し、防災に関する普及啓発を効果的に推進した。	B
49	代々木公園	S	・駒沢オリンピック公園では、「駒沢ファンタジア2025」において参加団体を47団体へ拡充し、一昨年比162%の来場者を達成するなど地域活性化につながる賑わいを創出したほか、自由が丘帰宅困難者対策協議会との連携防災訓練では、防災介助士による車いす介助の説明・実演を行い、自助・共助の意識醸成につなげた。	S
50	善福寺川緑地	A	・代々木公園では、工事に伴い「ジャズフェスティバル」と「あそび万博」を同時開催し、相乗効果による大幅な来場者増を達成したほか、ボランティア団体の協力のもと自然素材を活用したワークショップを複数回開催するなど公園の魅力発信に寄与した。また、NPO法人や企業、近隣中学校との協働によるボランティア活動を一体的に実施し、多様な主体による維持管理体制の構築と都民参加の裾野拡大につなげた。さらに、渋谷区神南一丁目北側地区指定管理者との継続的な連携や協働によるパークミーティングの実施を通じて、地域課題を共有しながら公園と周辺地域が一体となった魅力向上や防災力強化を推進した。あわせて、消防少年団・町会・税務署等と連携したかまどベンチ活用訓練や避難訓練、震災時遠距離送水訓練など初実施の訓練を積極的に展開し、防災普及啓発を効果的に推進した点等を高く評価。	A
51	和田堀公園	A	・善福寺川緑地では、花壇ボランティア団体との連携によるクリスマスクラフト教室や地域NPO法人と連携した自然観察会を開催し、多様な主体との協働による公園の魅力発信に寄与したほか、杉並消防署・杉並区防災課と連携した近隣保育園4園との合同防災訓練では、発災時の行動を動物の動きに例えた「ぼうさいにんじやしゅぎょう」パネルを作成し園児の理解度に応じた実演を交えた内容とすることで、地域の防災力向上に貢献した。また、桜並木の保全・継承に向けて樹木診断を実施するとともに、住民との話し合いを重ね、支柱設置や危険木の伐採等により安全な利用環境の確保に努めた点等を評価。	A
52	汐入公園	A	・和田堀公園では、関係団体等が参加するパークミーティングでの意見を踏まえ、ボランティア団体と連携した「カプトムシの幼虫観察会」を実施し、都民ニーズの掘り起こしと参加機会の拡充を図ったほか、自然観察会「和田堀まるごとミュージアム」において生物多様性普及啓発動画をSNSで発信するなど生態系保全の取組の普及啓発を推進した。また、障害者自立支援施設と連携した地域連携防災訓練においてイラストカードやクイズを活用した「見てわかる防災」により、多様な主体の防災訓練参加の促進に効果を発揮した点等を評価。	A
53	城北中央公園	A	・汐入公園では、新規企画「汐入Treeアドベンチャーラリー」において、近隣中学生が樹名板の作成・設置に参画し学びを実践につなげる機会を創出するとともに、ハーブ観察会等の体験型プログラムの充実により生物多様性の理解促進に寄与したほか、開園20周年イベントでは地元町会との共催による多彩なコンテンツを展開し、公園の魅力向上と地域のにぎわい創出につなげた。また、多くの来園者が訪れる隅田川花火大会開催時において、関係機関等との事前調整、適切な情報発信、来園者の誘導等により、安全かつ円滑な利用環境の確保に努めた点等を評価。	A
54	光が丘公園	A	・城北中央公園では、誰でも遊べる児童遊具整備としてサンドテーブルやパネル遊具を設置し、年齢や状況を問わず誰もが安心して楽しめる公園づくりを推進したほか、都立北豊島工科高等学校において防災介助士による出張授業を提案・実施し、車いすやアイマスク等を用いた避難誘導訓練等により若い世代への防災意識の普及啓発につなげた点等を評価。	A

グループ名	防災公園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
55	舎人公園	A	・舎人公園では、足立区及び民間企業と連携した自然観察会を初開催し、アプリを活用したゲーム感覚での動植物観察により子ども達の好奇心を育み、生物多様性に親しむ機会を創出したほか、ボランティアや地域住民と連携した「TONER!パトロール隊」を結成し、地域と協働した継続的な取組により安全で安心な利用環境の確保につなげた点等を評価。	A
56	水元公園	S	・水元公園では、開園60周年を契機に、職員発案によるハナショウブをデザインした記念グッズを制作し、来園者への配布やのぼり・ポスターによるPRを展開することで、周年事業の周知と特別感の演出を図ったほか、初開催の「ハナショウブ有料ガイドツアー」では、職員による専門的な解説とオリジナルグッズの配布により、品種や育成の知識を交えながらハナショウブの魅力を深く伝える機会を創出した。さらに、小学校との連携を深化させ、特別支援学級の児童を対象とした防災教室を初開催し、防災介助士の資格を持つ職員による分かりやすい解説や実践的な体験を通じて、防災意識の醸成を図った点等を高く評価。	S
57	篠崎公園	A	・篠崎公園では、「ふれあいフェスティバル」において来場者ニーズを踏まえ移動プラネタリウムや小学校の学習成果展示を新たに導入し施設の魅力向上につなげたほか、パークミーティングにおいて開園60周年を契機とした小学校との連携を提案し、アジサイ園再構築を題材にした環境学習を展開するなど、地域資源を活用した教育連携の取組を通じて、将来を見据えた継続的な協力関係の構築を図った点等を評価。	A
58	葛西臨海公園	A	・葛西臨海公園では、国内各地のスイセンの名所と協働し「水仙まつり」を開催し、来園者の少ない冬に大花壇での魅力創出と公園の賑わいを図ったほか、周辺交通事業者と実行委員会を立ち上げ、地元区や消防庁等と連携して防災啓発イベント「葛西臨海公園防災フェス&アウトドア」を初開催し、地域の防災普及啓発に寄与した。また、令和7年度から開園となった護岸部について、特別清掃や看板の新設を行い、安全で快適な利用環境の確保と良好な景観形成に着実に取り組んだ点等を評価。	A
59	武蔵野中央公園	B	・武蔵野中央公園では、発生材を活用したモルックの製作と年間6回の選手権開催等を通じてユニバーサルスポーツの普及啓発を推進し、健康増進と誰もが参加しやすい公園づくりに貢献した。また、武蔵野市・警察・消防等と連携した「水防・防災フェスタ」の開催や「災害時トイレ運用マニュアル」の策定に加え、園内の災害用トイレの開設手順を市の運用マニュアルへ反映するなど、防災公園としての機能向上を図るとともに、災害時における関係機関との連携強化に寄与した。	B
60	府中の森公園	A	・府中の森公園では、にじいろ広場の園路にトリックアートを設置し、危険な自転車走行への注意喚起とフォトスポットの創出を両立させたほか、パークミーティングを通じて把握した地域ニーズを踏まえ、毎月27日を「にじーなの日」として各種イベントを定期開催し、関連20団体がパークミーティングに参加するなど、公園を核とした地域連携の拡大と施設の魅力向上に寄与した点等を評価。	A
61	武蔵野の森公園	B	・武蔵野の森公園では、「絵本と歌の庭」においてヒマワリの種まきから開花までの観察や蝶の幼虫とのふれあい、放蝶体験など、子供たちが楽しみながら生物多様性への理解を深める普及啓発に取り組んだほか、「夕涼みフェスタ」と同時開催した「星空観望会」により、地域住民の夏の思い出となる機会を創出し、施設の新たな魅力向上につなげた。	B
62	小金井公園	S	・小金井公園では、ボランティアと協働し、江戸時代由来の桜の台木を用いて多様な品種の苗木を育成・補植することで、サクラの多様性確保と景観充実を図ったほか、利用者ニーズを踏まえた「夏祭り」や「水遊び」イベントを初開催し、各500人以上が参加するなど、水景施設がない公園においても酷暑期に涼しく楽しめる機会を創出する創意工夫が図られた。また、隣接四市や自治会等と連携した地域連携防災訓練及び意見交換会を計5回実施し、地域ごとの発災時の懸念への対処と園内防災施設の運用習熟を通じて、関係機関との継続的な協力体制の構築につなげるなど、パークミーティング等を起点に地域ニーズを踏まえた事業を複数展開し、多様な主体との協働体制の構築・拡充を進めた点等を高く評価。	S
63	東村山中央公園	B	・東村山中央公園では、ボランティアとの協働により、江戸園芸「小菊盆栽」を展示する「菊花展」を開催し、伝統文化を活かした公園の魅力発信と都民参加の促進につなげたほか、消防・警察・近隣高校生等と連携した「防災フェスタ」ではロケットストロブ製作実演など実践的なプログラムを展開し、防災普及啓発を推進した。また、パークミーティングを起点に地域ニーズを踏まえた企画を展開し、多様な主体との協働体制の構築・拡充を進めた。	B
64	東大和南公園	B	・東大和南公園では、地元の名所や公園周辺の自然観察ポイントを巡るデジタル版スタンプラリーにおいて参加者の声を踏まえたスポットの追加選定等の工夫により参加者が前回比283%の1,357人に増加し、公園の回遊性向上と利用促進につなげたほか、地元保育園との協働による「リトルキッズコミュニティ」を年6回に拡大し、子育て家庭の交流の場としての役割を高め、地域価値の向上に貢献した。	B
65	秋留台公園	B	・秋留台公園では、「ローズフェスタ」開催にあたりJR拝島駅へのポスター掲示や各種Webサイトでの告知など広報を強化し、来園者数が春秋ともに前年度比で増加した。また、東京消防庁秋川消防署と連携したインクルーシブ防災訓練では近隣幼稚園や高校との訓練等を実施し、地域の子供達の防災意識とインクルーシブへの関心を高めた。	B

グループ名	文化財庭園グループ
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
66	浜離宮恩賜庭園	S	・グループ全体の取組として、9庭園共同のキャンペーンやスタンプラリーを通じ、庭園間の周遊を効果的に促進した。特に、ドローン撮影による高品質な動画の制作・発信や、セルフガイド機能を備えた11言語対応のデジタルマップガイドサービスの展開など、多様なデジタルコンテンツを活用して庭園の魅力を視覚的に訴求し、広域的な集客に繋げた点を評価する。また、各庭園において、その庭園が生まれた時代背景や造園技術、作庭に携わった人々の思いや感性を感じられる修景、催し及び展示に創意工夫を重ねることで、歴史文化施設として高い水準を維持している。さらに、維持管理技術・技能の継承と次世代人材の育成に継続的に取り組み、庭園文化の保全・継承に努めた点も評価できる。	S
67	旧芝離宮恩賜庭園	A	・浜離宮恩賜庭園では、かつての「舟遊び」を臨場感ある映像体験として再現し、歴史的価値を現代技術で追体験できる機会を創出した。また、来園者アンケートの分析結果を踏まえ、Googleマップの投稿機能を活用した効果的な広報展開や、伝統芸能に関する多彩なプログラムを実施することで、顧客満足度の向上と庭園の魅力発信に大きく貢献した。さらに、直営作業による「南禅寺垣」「金閣寺垣」の更新等を通じて、大泉水エリアの景観と安全性を向上させるとともに、熟練職員から若手職員への技能伝承と工程の資料化を進め、次世代への継承体制を構築した点等を高く評価。	A
68	小石川後樂園	S	・旧芝離宮恩賜庭園では、企業ボランティアとの協働を促進し、イベント関連企業との連携による景観向上や親子参加型ボランティアの新規実施など、都民参加の拡大を通じた庭園の維持管理と魅力向上に寄与した。また、庭園周囲からの視点にも配慮した外周遮蔽樹木の整枝剪定に新たな手法を取り入れ、文化財庭園としての価値向上に貢献した点等を評価。 ・小石川後樂園では、保存活用計画に沿い、内庭池で過剰繁殖したスイレンの適切な密度管理を実施し、有識者の助言のもときめ細やかな景観維持に努めるとともに、除去株を向島百花園へ移植して庭園間連携を実現した。また、蓬莱島については、SNSや動画配信ツールを活用して通常立入禁止区域の価値を広く紹介し、庭園の奥深い魅力を訴求した。さらに、約5年ぶりとなる蓬莱島の大規模修景管理を実施し、明治期の絵図を参考に歴史的景観の再生を図りながら、熟練職員から若手職員への技術伝承を推進した点等を高く評価。	S
69	六義園	A	・六義園では、「六」にちなんだ新規イベントを企画し、古材を活用したオリジナルノベルティ製作や写真展示で利用者の関心を集め、イベント期間中来園者数を前年比116%に伸長させた。また、ツツジの同定調査に基づく散策マップ作成や、外部専門家の知見を活かした職員による特別ガイドを初めて実施し、職員のスキル向上と庭園の魅力発信に寄与した点等を評価。	A
70	旧岩崎邸庭園	A	・旧岩崎邸庭園では、LINEを活用した謎解き企画において、通常非公開の地下通路を活用し、ジョサイア・コンドルの建築へのこだわりを題材とすることで、施設の魅力を効果的に発信した。また、伝統芸能公演において音声文字化サービスを初めて導入し、聴覚障害者も楽しめるユニバーサルな鑑賞環境を整備するなど、文化財施設におけるバリアフリー化を推進した点等を評価。	A
71	向島百花園	S	・向島百花園では、都立農産高校との連携を正式カリキュラムへと発展させ変化朝顔の展示を実現したほか、都立職業能力開発センターとの初連携など、教育・訓練機関との協働を通じて次世代の造園人材育成に貢献した。また、「古典菊」の栽培手法を見直し一昨年比3倍の規模での展示や大づくりの試作に成功するなど、伝統技術の検証・蓄積を図った。さらに、「御成座敷」において歴史解説パネルやデジタルサイネージの導入、畳・障子の整備や予約状況のウェブ公開により、文化財の活用を充実させることで、江戸の町人文化を守り、学び、伝える場としての魅力向上に努めた点等を高く評価。	S
72	清澄庭園	A	・清澄庭園では、芝生地のカヤ防除や苔地の除草等を直営で実施し、観賞性の高い景観を維持した。また、博物館や教育機関等と連携した多様なプログラムや、地域包括支援センターとの協働による防災訓練など、幅広い世代が参加できる取組を展開し、施設を核とした地域価値の向上に寄与した点等を評価。	A
73	旧古河庭園	A	・旧古河庭園では、国指定名勝20周年に合わせ、洋館外壁修理の講演会やバラの育て方講座、防災体験コーナーなど多角的なイベントを企画し、文化財庭園への理解促進に貢献した。また、史料写真に基づきバラ園花壇の修景に取り組み、洋風庭園の平面性を回復させ、歴史的景観を再現することで、施設全体の価値向上に寄与した点等を評価。	A
74	殿ヶ谷戸庭園	B	・殿ヶ谷戸庭園では、屋外の芝生地を活用したガーデンコンサートを開催するなど、庭園空間を活用した魅力的な事業展開を実現した。また、大学の茶道部と連携した紅葉亭でのイベント企画や都立高校訪問を通じた校外学習の提案など、継続的な参加受入れの基盤を構築し、都民参加の裾野拡大に寄与した。	B

グループ名	神代植物公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
75	神代植物公園	S	・神代植物公園では、SNSに加え小田急線沿線へのポスター掲出やラッピングバス運行、アニメとのコラボ企画等、多様な広報手法を展開し、入園者数を前年度比111%に増加させたほか、江戸園芸文化に関するシンポジウムや特別企画展の開催等を通じ、植物園の魅力を広く発信した。また、ショクダイオオコンニャクの国内最多と並ぶ同一株6回目の開花（令和8年3月時点）に際し、その特性を活かした一夜限りの夜間公開を実施し、集客効果を上げたほか、記録的な猛暑への対応として複数の夜間公開イベントの開催や「みんなのピアノ」のコンサート開催回数の拡充を図るなど、社会環境の変化を踏まえた利用環境の改善に積極的に取り組み、来園者の快適性向上に寄与した。さらに、サクラソウの新たな増殖方法の開発、国内希少野生動植物種シマキンレイカの増殖成功など、専門的な調査・研究成果の蓄積と発信を行っている点等を高く評価。	S

グループ名	夢の島公園・夢の島熱帯植物館
指定管理者名	アメニス夢の島グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
76	夢の島公園	A	・夢の島公園では、新木場連絡会参加企業と連携した最寄り駅周辺の清掃活動を継続実施し、来園者が快適にアクセスできる環境整備を図るとともに、フォトスポットの設置など地域連携による魅力向上の取組を推進した。また、パラスポーツイベントやティラノサウルスレース等を関係施設と連携して実施し、来園者の健康増進やストレス軽減に寄与するとともに、新規来園者の獲得や公園の認知度向上につなげた点等を評価。	A
77	夢の島熱帯植物館	S	・夢の島熱帯植物館では、小石川植物園との連携により小笠原固有種の譲渡や栽培・管理に関する知見の共有を受けるなど、生息域外保全の取組を推進するとともに、希少植物の展示内容の充実を図り、生物多様性保全と来館者への理解促進に寄与した。また、公式ホームページやX、Instagram、Note等の媒体特性を活かした情報発信や、夜の開館、トロピカルなロケーションの魅力を活かした若者向けのイベントや発信に取り組んだことで、入場者数を増やし、知名度を高めることに成功した。特に、アニメやアートとのコラボは、植物公園の魅力を引き出す、先駆的、実験的な試みであった。さらに、大学生の学芸員実習やインターンシップ、中学生の職場体験、小学校への出張授業の受入れを通じて学びの機会を提供し、来館誘導や認知度向上につなげた。加えて、ガイドボランティアの活用により夜間開館時の案内を充実させ、利用者満足度の向上に寄与した点等を高く評価。	S

グループ名	潮風公園・台場公園
指定管理者名	東京臨海副都心グループ

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
78	潮風公園	B	・潮風公園では、「臨海副都心回遊スタンプラリー」の実施により、公園間の回遊性向上を図るとともに、来街者の誘引やエリア全体の活性化につなげた。また、ウォーキングイベントやパークヨガ等の健康増進に資する取組を実施し、公園利用の促進につなげた。雨天時もパークヨガにおいては代替地で実施するなど、継続的に利用機会を確保した。 ・台場公園では、ドローンショーを実施し、史跡としての制約に配慮しつつ演出を通じて地域の魅力を発信することで、来園者の公園および周辺エリアへの理解と愛着の向上につなげた。また、都が予定する国際美術展に向けた地盤調査等において、関係機関との調整を適切に行い、都の要請に協力した。	B
79	台場公園	B		B

グループ名	横網町公園
指定管理者名	公益財団法人東京都慰霊協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
80	横網町公園	A	・横網町公園では、日本庭園区域における松のコモ巻きや雪吊り、慰霊堂前の門松設置など、季節の風物詩となる景観づくりを適切に実施するとともに、資材の確保や仕上がりにも配慮した丁寧な管理により、来園者に良好な景観を提供し、公園の魅力向上に寄与した。また、天皇后両陛下等の行幸啓に際し、事前準備から当日の警備対応まで万全の体制で臨み、円滑な運営に貢献した。あわせて、報道対応など突発的な業務にも適切に対応し、施設管理者としての役割を果たした。関東大震災100年、東京大空襲80年を含む5ヶ年の取り組みの最終年にふさわしい企画を実施した点等を高く評価。今後は若い世代や地域の高校・大学等の協力を得ることで、防災や平和活動にかかわる次世代の育成を期待する。	A

グループ名	東京臨海広域防災公園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
81	東京臨海広域防災公園	B	・東京臨海広域防災公園では、有明地区の町会・自治会や近隣大学等と連携し、職場体験の受入れ、要配慮者対応を想定した避難訓練、煙体験テントによる防災啓発等を実施し、地域連携の強化を図った。また、国営公園や水辺ラインとの連携により、要介助者への対応をテーマとした施設見学や講座、防災船を活用した避難訓練を一体的に実施し、多様な状況に対応可能な活動体制の構築につなげた。	B

グループ名	明治公園
指定管理者名	Tokyo Legacy Parks 株式会社

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
82	明治公園	A	・明治公園では、真冬の閑散期にあわせ「Winter Lounge Meiji Park」を開催し、都立公園初の本格的なアイスリンクの設営やコタツパーク等の企画で公園における冬季の新たな楽しみ方を創出した。また、「読の市」では書店等が出店し、来園者約3万人を集め、公園から文化的体験の魅力の発信につなげた。また、7月にランニングコミュニティを立ち上げ、3月までに延べ11回のランニングイベントを実施するとともに、周辺施設と連携した広域活用により利用促進に寄与した。また、パークヨガを通年で実施し、季節に応じた工夫により人気プログラムとして定着している点等を評価。加えて公園側への椅子やテーブルの張り出し、ショップ側の緑のディスプレイ、タープなどによる中間領域の日陰スペースの創出などを行い、ショップと公園が空間的、運営的により融合することで、魅力がさらに高まると思われる。	A

グループ名	代々木公園
指定管理者名	代々木公園 S T A G E S

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
83	代々木公園	B	・代々木公園（渋谷区神南一丁目北側）では、にぎわい広場の天然芝管理において、日常の公園利用や自主事業イベントとの共存を図りながら、芝の状況を踏まえた施肥・養生等を実施し、来園者が天然芝の空間を楽しめる適切な維持管理を行った。一方で、「野外劇場のような都市型交流空間」というコンセプトを踏まえると、令和7年度の事業はスポーツイベントや講座が中心であり、文化的な活動や多様な交流の創出につながる取組は十分に見受けられなかったことから、今後は当該コンセプトをより体现する事業展開を期待したい。	B

グループ名	日比谷公園大音楽堂
指定管理者名	東京南部パークスグループ

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
84	日比谷公園大音楽堂	S	・日比谷公園大音楽堂では、クロージングイベントとして野音に縁のあるアーティストによるファイナルコンサートを開催し、多数のメディアに取り上げられるなど3代目日比谷野音の魅力をPRしたほか、「日比谷野音オープンデー2025」では過去最多の約4,000人が来場し、記念品の配布やメッセージボード等参加者の思い出に残る工夫を凝らし、野音の歴史や魅力を広く発信した。また、「日比谷音楽祭2025」では、芝庭広場のリニューアルを踏まえステージ配置を工夫し、日比谷公園の景観を際立たせるとともに園内回遊を促し公園全体の利用促進につなげた。さらに、再整備事業に関する各種調査や情報連携、9月末閉館に向けた撤収作業等、都からの協力要請に適切に対応した点等を高く評価。	S

グループ名	都立動物園
指定管理者名	公益財団法人東京動物園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
85	恩賜上野動物園	S	・グループ全体としては、ホームページの全面リニューアルにより利便性と情報発信力を向上させ、多様な利用者へのサービス向上に寄与した。また、障害のある子どもとその家族を対象とした「ドリームナイト&イブニング」を開催し、誰もが利用しやすい施設づくりに取り組んだ。 ・恩賜上野動物園では、双子のジャイアントパンダの返還に際し、血圧測定や採血、輸送箱への搬入などのハズバンダリートレーニングを事前に重ねることで、動物への負担軽減と安全な輸送を実現し、中国側との協力関係の維持・強化に寄与した。また、コビトカバやスマトラトラ、シロテナガザルなどの希少種の繁殖成功に加え、オガサワラカワラヒワの繁殖を達成するなど、域外保全を含む希少野生生物保全の取組において顕著な成果を上げ、生物多様性保全に大きく貢献した。さらに、キリンの治療において国際専門家の指導のもと処置を成功させ、アニマルウェルフェアの向上と飼育技術の発展に寄与するとともに、国際会議への参加や技術発表、情報収集を通じて、飼育技術の発展と継承に取り組んだ点等を高く評価。	S
86	多摩動物公園	B	・多摩動物公園では、高齢者等の負担軽減を目的とした電動カート貸出の導入や、夜間開園の時間延長など、来園者の利便性向上と多様な利用ニーズに対応したサービスを充実させた。また、チンパンジーやオランウータン等の希少種をはじめとする複数種の繁殖成功や、コアラ保全に係る普及啓発活動の実施により、生物多様性保全の推進と来園者への理解促進に寄与した。 ・葛西臨海水族園では、冬季誘客イベントにおいて観覧車と連携したライトアップや相互PRを実施し、来園者数の増加や相互利用の拡大につなげるなど、公園全体の魅力向上と地域価値の向上に寄与した。また、フェアリーペンギンの有精卵輸送やミナミイワトビペンギンの人工繁殖研究をはじめとする取組により、生体移動に頼らない新たな繁殖・遺伝的多様性確保の手法を確立し、生物多様性保全および飼育技術の発展に顕著な成果を上げた点等を評価。	B
87	葛西臨海水族園	A	・井の頭自然文化園では園内資源を活用した装飾やガイド、ワークショップ等を実施し、閑散期の魅力向上を図るとともに、動物園の緑に触れる機会の創出に取り組んだ。また、ニホンカモシカやトウキョウダルマガエルなど希少種の繁殖や、シロハラサギの保全に関する海外支援を通じて、希少野生生物の保全に寄与した。	A
88	井の頭自然文化園	B		B

グループ名	東京都霊園
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次評価	二次評価	
			評価内容	評価
89	青山霊園	B	・グループ全体の取組として、公示送達された使用者の存否確認において、調査精度の向上を図ったほか、管理料滞納者に対するきめ細かな対応を行うなど、適正管理に向けた業務改善を推進した。また、都心部の霊園について、歴史的人物を偲ぶ場としての価値に加え、日本の歴史や文化を伝える文化資源としての魅力に着目し、季節の装飾や文化イベントの実施、周辺観光資源と連携したマップの作成等を通じて、霊園の新たな魅力発信に取り組んだ。さらに、各霊園において、地域団体や教育機関、企業等との連携を積極的に進めるとともに、周年事業等を通じた魅力発信を展開し、地域とのつながりの強化を図った点を評価する。	B
90	谷中霊園	B	・青山霊園では、近隣保育園と連携し、園児及び保育士を対象とした水消火器による消火訓練やAED訓練を実施するなど、地域の防災意識の向上に寄与した。また、港区観光協会及びボランティアガイドとの協働により、著名人墓所を巡るガイドツアーを継続実施し、霊園の歴史的資源の活用と魅力発信を図り、来園者の関心や愛着の醸成に貢献した。 ・谷中霊園では、イラストや文字盤を活用したコミュニケーション支援ツールや「下げ花置場案内図」等の整備により、多様な利用者への対応と案内業務の効率化を両立し、サービスの質の向上に寄与したほか、ガイドツアーの継続実施や花手水の設置、英語併記案内板の整備等により、霊園の魅力発信と観光資源としての価値向上に貢献した。	B
91	雑司ヶ谷霊園	A	・雑司ヶ谷霊園では、利用者からの要望に応え、開園150周年記念講座を地域活動団体向けに再実施するとともに、公開講座への展開や講座時間の拡充、地域ボランティアと連携した墓所案内の実施など、ニーズに応じた柔軟な対応により、霊園の魅力発信と地域団体との協力関係の強化に寄与した。また、樹林型合葬埋蔵施設の運用開始に伴い、都と協力して納骨や貸付け等の手続きを円滑に進めるとともに、施設概要や埋蔵方法を解説した動画を作成・公開し、利用者への情報提供の充実を図った点等を評価。	A
92	染井霊園	B	・染井霊園では、返還された空き墓所の雑草対策として、防草シートや防草砂を活用した維持管理手法を導入し、計画的に空き墓所の美観維持を進めるなど、効率的な施設管理を実現したほか、新規貸付墓所への園路が未整備の状況において、暫定的に緑芝シートを設置することで、工事完了前から墓参者に快適な墓参環境を提供するなど、利用者の視点に立ったサービス向上を図った。	B
93	八柱霊園	A	・八柱霊園では、防災士資格を持つ職員による夜間避難体験会を実施するとともに、近隣小学校の地域防災訓練への出張参加や夏休みこども教室での防災ワークショップの開催、地元自治会との夜間開錠に関する協定締結など、広域避難場所としての役割を踏まえた多角的な取組により、地域住民の防災意識の向上と地域連携の強化に寄与した。また、北総線・京成松戸線と連携した地域周遊スタンプラリーを初開催し、霊園や地域の歴史・文化を伝える内容とすることで、霊園への親しみの醸成と魅力発信に貢献した点等を評価。	A
94	八王子霊園	A	・八王子霊園では、交通量が多い園路の交差点に路面表示を13箇所追加設置し、目的地までの順路のわかりやすさを向上させることで、混雑緩和と園内の安全性向上に寄与したほか、広い園内の移動を支援する墓参バスの運行において、高齢者からの要望が高い場所への停留所や休憩用ベンチの増設を実施し、墓参しやすい環境整備を図った点等を評価。	A
95	多磨霊園	B	・多磨霊園では、都立霊園初の試みとして司法書士による祭祀財産承継相談会を開催し、法的な見解と承継手続きを併せて案内することで、利用者の理解促進と手続きの円滑化、職員の専門知識向上を図ったほか、みたま堂の献花台への雨天対策や引取遺骨の事前移動、長期収蔵施設更新対象者への案内送付や相談対応など、利用者視点に立った対応を推進しサービス向上に貢献した。 ・小平霊園では、区画ごとの消火対策用備品の設置や定期的な園内放送、啓発動画の配信による注意喚起に加え、「芝生火災対応マニュアル」の作成とOJTによる職員のスキルアップを図り、昨年度14件の芝生火災を0件とする顕著な成果を上げた。また、墓参者からのニーズを受け、市役所や関係機関との調整のもと「魅力発見!街歩きマップ」を作成・配布し、墓参をきっかけとした地域への周遊促進に寄与した。	B
96	小平霊園	B		B

グループ名	瑞江葬儀所
指定管理者名	公益財団法人東京都公園協会

No.	施設名	一次 評価	二次評価	
			評価内容	評価
97	瑞江葬儀所	A	・瑞江葬儀所では、近隣の親子と職員が協働して施設内に花を植え付け、施設特性に配慮した花壇景観を創出するとともに、地域との信頼関係の構築を図った。また、新施設への移行に伴い、施設を休止せず可能な限り火葬件数を減らさないよう習熟期間・件数等を検討し、安定した葬儀所運営に向けた調整を行った点等を評価。	A